

日本発着無料手荷物許容量

1. 日本からインドまで通しの航空券を所持している場合

2015年4月1日発券より、IATA Resolution 302の一部定義変更に伴い、コードシェア便の場合、航空会社公示の規則に運航航空会社とする旨、明記されていない場合は今まで通り、運航会社の規則が適用になります。なお、空港では航空券に記載される無料手荷物許容量が最優先されます。ジェットエアウエイズは全日空とコードシェアしていますので、全日空運航便を9W便名でご利用の場合は、エコノミークラス30kg、ビジネスクラスは40kgのジェットエアウエイズの規則が適用になります。また、日本発着の超過手荷物料金は1kgにつき、IATA ノーマルエコノミークラス片道運賃 (YIF) の1.5%を徴収いたします。

コードシェア便が含まれている例【国際線】

例1：往路の9W4143はコードシェア便ですので9Wの規則、復路はNHの規則が適用になります。

01	O	NRT	9W	4143T	01MAY	1200P	T2XRTJP1	01MAY01MAY30K
02	O	BOM	NH	830J	10MAY	805P	J2XRTA1	03MAY01AUG02P
NRT								

例2：往路復路ともにコードシェア便ですので、9Wの規則が適用になります。

01	O	NRT	9W	4143T	01JUN	1200P	T2WRTJP1	01JUN01JUN30K
02	O	BOM	9W	4144L	10JUN	805P	L2RTJP1	10JUN10JUN30K
NRT								

例3：往路はコードシェア便ですので9Wの規則、復路は運航会社の9Wの規則が適用になります。

01	O	NRT	9W	4148Z	05JUN	1000A	Z2XRTJP1	05JUN05JUN40K
02	X	HKG	9W	75Z	05JUN	745P	Z2XRTJP1	05JUN05JUN40K
03	O	BOM	9W	76Z	10JUN	120A	Z2XRTJP1	10JUN10JUN40K
04	X	HKG	9W	4150Z	10JUN	255P	Z2XRTJP1	10JUN10JUN40K
NRT								

例4：往路はコードシェア便ですので9Wの規則、復路はコードシェア便のNHの規則が適用になります。

01	O	NRT	9W	4148T	05JUN	1000A	T2XRTJP1	05JUN05JUN30K
02	X	HKG	9W	75T	05JUN	745P	T2XRTHK	05JUN05JUN30K
03	O	BOM	NH	6406Y	10JUN	105A	Y2XRTA1	07JUN05SEP02P
04	X	BKK	NH	848Y	10JUN	1025A	Y2XRTA1	07JUN05SEP02P
HND								

コードシェア便が含まれていない例【国際線】

例1：往路はCX、復路は9Wの規則が適用になります。

01	O	HND	CX	543L	01JUN	1035A	LLAPAA	01JUN01JUN20K
02	O	HKG	9W	75T	01JUN	745P	T2XRTHK	01JUN20K
03	O	BOM	9W	76T	15JUN	120A	T2WRTHK	01JUN20K
04	O	HKG	CX	500L	15JUN	310P	LLAPAA	15JUN15JUN20K
NRT								

例2：往路はJL、復路は9Wの規則が適用になります。

01	O	HND	JL	29W	01JUN	1000A	BYWHSEZP	01JUN01JUN02P
02	O	HKG	9W	75P	01JUN	745P	M2XRTHK	01JUN02P
03	O	BOM	9W	76P	15JUN	120A	M2WRTHK	01JUN40K
04	O	HKG	JL	26W	15JUN	315P	BYXHSEZP	03JUN01SEP40K
HND								

※復路 SIN/BKK/HKG 経由で NH/JL を利用する場合はビジネスクラス 40kg、エコノミークラスは 30kg の無料手荷物許容量。上記例 1 は復路が CX のため 20kg

【国際線に国内線を含む場合】

例1：乗り継ぎの場合は国際線の規則が適用になります。往路復路ともにコードシェア便ですので、往路は9W、復路はNHの規則が適用になります。

01	O	NRT	9W	4148T	01JUN	1000A	T2WRTJP1	01JUN01JUN30K
02	X	HKG	9W	75T	01JUN	745P	T2WRTJP1	01JUN01JUN30K
03	X	BOM	9W	7050T	02JUN	440A	T2WRTJP1	02JUN02JUN30K
04	O	PNQ	9W	7057H	10JUN	1100P	H2AP07	10JUN10JUN02P
05	O	BOM	NH	6402Y	11JUN	120A	Y2WRTA1	01SEP02P
06	O	HKG	NH	810Y	12JUN	255P	Y2WRTA1	03JUN01SEP02P
NRT								

例 2：24 時間以上ストップオーバーする場合は、理論上はインド国内線の無料手荷物許容量（25kg）が適用になると本社より通達されていますが、現時点では一致していません。空港では航空券に記載の無料手荷物許容量が最優先されますので、現時点ではインド国内線は 30kg が適用されます。

01	O	NRT	9W	4148T	01JUN	1000A	T2WRTJP1	01JUN01JUN30K
02	X	HKG	9W	75T	01JUN	745P	T2WRTJP1	01JUN01JUN30K
03	O	BOM	9W	7050H	04JUN	440A	H2AP07	04JUN04JUN30K
04	O	PNQ	9W	617K	05JUN	540P	K2AP02R	05JUN05JUN30K
05	O	BOM	NH	6402Y	11JUN	120A	Y2WRTA1	01SEP02P
06	O	HKG	NH	810Y	12JUN	255P	Y2WRTA1	03JUN01SEP02P
NRT								

例 3：例 2 と同じ

01	O	HND	NH	841Y	10JUN	1105A	Y2XRTA2	10JUN02P
02	X	SIN	NH	6280Y	10JUN	805P	Y2XRTA2	10JUN02P
03	O	BLR	9W	7126H	15JUN	1255P	H2AP07	15JUN15JUN30K
04	O	DEL	NH	828Y	18JUN	125A	Y2XRTA1	10JUN02P
NRT								

2. 日本発着とジェットエアウェイズの航空券を別々に所持している場合

日本発ジェットエアウェイズの就航都市までは日本発の航空会社の規則に準じます。ジェットエアウェイズの区間はジェットエアウェイズの規則に準じます。

日本発着受託手荷物の預け入れ

1. 日本からインドまで通しの航空券を所持している場合

- ✓ 往路：通常、通しで預け入れが可能です。ただし、インド国内線が含まれている場合、航空会社により最終目的地までタグを付けてくれる場合とそうでない場合があります。特にインド国内線が 9W7000 番台の場合、JL/NH が S2 とは契約がないため、タグは付きません。いずれの場合も最初に入国する都市で入国審査と税関検査を受けますので、手荷物はいったん受け取る必要があります。その後国内線に移動してください。
- ✓ 復路：通常、通しで預け入れが可能です。インド国内線 9W7000 番台に関しては往路と同じ理論が適用されます。

2. 日本発着とジェットエアウェイズの航空券を別々に所持している場合

- ✓ 往路：日本発ジェットエアウェイズの就航都市までは日本発の航空会社の規則に準じます。ジェットエアウェイズの区間はジェットエアウェイズの規則に準じます。日本から通しでインドまで預け入れ可能かどうかは日本出発の航空会社の判断によります。
- ✓ 復路：原則、通しで預け入れは不可のため、ジェットエアウェイズ降機地でいったん入国して再度チェックイン。しかしながら、実際には、インドでチェックイン時にジェットエアウェイズと他社の航空券の両方を提示して「最終目的地まで通しで手荷物をチェックインしたい」旨を係員に申し出ることにより通しにすることは可能です。ただし、9W7000 番台は S2 運航便のため、多くの場合日本まで通しでの預け入れができません。デリー／ムンバイなどで国際線に乗り換える際に手荷物をピックアップするか経由地点（HKG/SIN/BKK など）で再チェックインしてください。なお、空港係員の判断が最優先されますので、通しでチェックインできない場合もあります。
- ✓ 往路／復路：最終目的地まで手荷物をチェックインした場合、インターエアラインスルーチェックイン（IATCI）契約があっても、搭乗券は、原則、最終目的地まで通しで発行されません。経由地の乗り継ぎカウンターで再チェックインして搭乗券を受け取る必要があります。その際、最初の搭乗地で付けられたバゲジタグを必ず提示してください。提示がない場合は、最終目的地までバゲジタグが付いていても、経由地止まりになります。